

特定非営利活動法人学生支援ハウスようこそ 2021年度 事業報告

はじめに

2021年度も当法人が運営する支援付きシェアハウスに、児童養護施設等を退所した学生を受け入れ、住居・食事の提供を中心とした生活支援、学業・進路および健康や心理面等に関する相談援助を実施した。2021年はコロナ禍による自粛生活が2年目を迎え、いっそうの感染予防が求められるなか、引き続き徹底した感染予防を行った。その成果によって、ハウスでは学生・スタッフともにひとりの感染者を出すこともなく、安心・安全な生活を維持することができた。コロナ禍ではあったものの、オンライン会議システムを積極的に活用し、ハウス会議、スタッフ会議等のコミュニケーションを継続した。また、学生の元居住施設の職員とケースカンファレンスを複数回実施するなど、施設との緊密な連携・協働体制の構築を進めた。さらに、ハウスを退所した者へのアフターケアとして誕生日にメッセージカードを送るなど、継続的な見守りを実施するとともに、相談がある場合には面談や同行支援も実施した。

また、会員・支援者を対象とした公開学習会等をオンライン形式で開催するなどして、ケアリーバーへの社会的関心の喚起に努めた。メディアの取材に応じ、当法人の活動とその意義が報道されることによって、多くの読者から反響が寄せられた。反響はようこそへの寄付・支援につながった。

行政に対しては、進学するケアリーバーへの公的支援の必要性を訴えるための面談を実施し、担当者と意見交換・情報共有を行った。面談に際しては活動理念を同じくする他団体と打ち合わせを重ね、連携の強化を図った。

1. 学生生活支援のためのシェアハウス運営事業（数字は2021年12月末日現在）

① 学生の入居状況

- ・2020年度より継続2名
- ・2021年4月に1名入居

② スタッフの勤務状況

・毎日、スタッフがハウスに宿泊し食事提供・環境整備・健康管理・相談援助等を行った。宿泊を基本にしながら、コロナ感染症の予防対策のため、日勤で業務にあたる日を設けた。4月以降、1名のハウスアテンダント*（HA）の方にチーフを委嘱している。

*学生への面談・相談等を通して学生支援の中心を担うスタッフ

- ・ハウスアテンダント：3名
- ・スタッフ：10名（そのうち、宿泊対応する理事・事務局員：4名）

③ 食事の提供

・毎日、スタッフが、学生に手作りの温かい食事（朝夕食）を提供し、学生の食生活と健康を支えた。調理ボランティアとして2名の方から協力を得た。

④ コロナ対策に伴うハウス勤務の変更等

- ・日勤勤務を継続し柔軟に対応できる体制を組んだ。
- ・コロナ感染の危険性のある緊急事態宣言中にハウス勤務に入ってくくださったHAおよびスタッフのみなさんに謝意を表すためのギフトカードを支給した（2021年7月）。

⑤ ハウスにおけるコロナ対策

- ・コロナ対策のため衛生用品・抗原検査キットを購入し感染予防対策を徹底した。
- ・ハウスのコロナ対策に助言を得るため「学生支援ハウスようこそ相談医」をコロナ対策に識見のある医師に委嘱し協力を仰いだ。助言に基づきコロナ感染対策のマニュアルを策定した。
- ・陽性者・濃厚接触者が出た場合に備え、ハウス居室の1室を静養室として確保した。陽性者発生時のゾーニングを設定し生活ルールを確認した。
- ・緊急事態宣言発令中など感染状況に応じて、門限の時間や外泊の方法のきまりを変更し、学生の安全確保に努めた。

⑥ ハウスの環境整備

- ・必要に応じてハウス建物の修繕を行った。
- ・オンライン授業が増えたため Wi-Fi 環境を改善した。

⑦ 個別面談・ケースカンファレンスの実施

- ・学生一人ひとりに対して個別面談を実施し、生活・学業・進路・心身の健康面等の相談の機会を設けた。
- ・必要に応じて、元居住施設職員や学校教員と連携しケースカンファレンスを実施した。

⑧ 通院等の同行

- ・コロナウィルスのワクチン接種に際して、学生の接種の予約をサポートし、当日は会場へ同行した。なお、ハウス入居学生は全員がワクチン接種（2回）を済ませた。
- ・学生の病院への通院に同行した。

⑨ スタッフ会議、ハウスアテンダント（HA）会議の開催

- ・スタッフによる、ハウスの学生支援に関する会議を毎月開催した。スタッフ間で情報を共有し支援の実際を協議した。感染対策のため Zoom を用いて開催した。また、HA による会議も適宜開催し、学生に対する個別支援のあり方を検討した。

⑩ ハウス会議の開催

- ・学生と HA を中心にハウスでの共同生活を円滑かつ豊かにするための「ハウス会議」を年4回実施した（Zoom 開催）。コロナ感染症への対策を学生同士でくり返し話し合い、新しいルールにもとづく生活を実践した。また、「ようこそ暮らしの豆知識」というミニ講座を実施し、クレジットカードの安全な使い方や洗濯のコツなど、退所後の暮らしに役立つ知識を提供した。

⑪ ハウス行事の開催

- ・コロナ禍による自粛生活が長引くため、歓迎会・誕生会・送別会等のハウス行事は中止している。代わりに、いったん感染が低減した12月中に、学生一人ひとりとスタッフが個別の食事会を開き、懇談する機会を持った。

⑫ 寄付・寄贈品

- ・多数の団体、個人から寄付があった。季節の果物、菓子、日用品、生理用品等を寄贈していただいた。また、新鮮な有機野菜や肉、麺類を定期的に寄贈していただいている。
- ・洋服の寄贈については、寄贈品の展示会を行って希望する服を選んだ。

⑬ 退居者支援（アフターケア）

- ・必要に応じて連絡を取るなど、退居者への見守り・助言の支援を継続した。夜間に緊急な相談が入ることもあり、適宜相談に応じるとともに、同行支援も実施した。

2. 調査研究・広報啓発に関する事業

① 講演会・学習会等の開催

若者支援に関する一般公開の講演会に参加したり、公開学習会を開催したりすることにより、ようこ

その取り組みを踏まえた学生支援の必要性を訴えた。

- ・招待講演 北区社会福祉士会 総会
日時：2021年7月10日（土）14:00～17:00
場所：北区赤羽北区民センター
講師：酒本・深田
- ・公開学習会「ケアリーバー全国調査」に関する報告
日時：2021年7月29日（木）19:00～21:00
場所：オンライン（Zoomの使用）
講師：松本伊智朗北海道大学教授
- ・懇談会「作ろう、若者のシェアハウス」江東社会的養育を考える会／江東社会福祉士会
日時：2021年9月12日（日）14:00～16:00
場所：江東区森下文化センター
話題提供：深田
- ・至誠学園「イノベーションゼミナール」
日時：2021年11月12日（金）19:00～21:00
場所：オンライン（Zoomの使用）
講師：庄司・深田

② 助成金報告会への参加

- ・パルシステム東京「市民活動助成基金」報告会
日時：2021年7月3日（土）14:00～16:00
場所：オンライン（Zoomの使用）
参加：庄司・松井・吉澤・深田・酒本
- ・生活クラブ生協「若者おうえん基金」報告会
日時：2021年9月4日（土）14:00～16:00
場所：オンライン（Zoomの使用）
参加：庄司・深田
- ・パルシステム東京・助成金ヒアリング
日時：2021年10月7日（木）14:00～16:00
場所：オンライン（Zoomの使用）
参加：庄司・深田
- ・首都圏若者サポートネットワーク「若者おうえん基金」現場見学会 全2回
日時：第1回2021年10月23日（土）、第2回2021年11月14日（日）14:00～16:00
参加：庄司・湯澤・深田

③ 社会福祉協議会との連携

・ハウス所在地の社会福祉協議会から頻繁に寄付の申し出を受けた。民間財団への申請書提出にあたっては社会福祉協議会の推薦を得るなど、地元社協との連携を継続している。

④ メールマガジンの発行、ホームページの更新

・会員あてのメールマガジンを4回制作・発行し（14～16号+臨時号、16号の発行は2022年1月1日）、ようこそその活動およびハウス運営に関する情報発信を行った。ホームページを随時更新し活動の広報に努めた。

⑤ メディアへの発信

- ・読売新聞の取材を受け、2021年11月13日（夕刊）の記事『「親ガチャ」で問われる社会』として掲

載・報道された。

⑥ 見学・相談の対応

・児童相談所や社会福祉協議会の担当者から HP の入居問い合わせフォームを通じて、ハウスの実際や部屋の空き状況に関する質問が複数寄せられた。

・入居を希望・検討する児童養護施設関係者の見学・相談に応じた。また、役所や社会福祉協議会、民間団体などから多くの入居問い合わせがあり、相談に応じた。

3. 法人に関する事項

① 各種会議の開催

・理事会、事務局会議等を定期的に開催し、法人の安定的な運営に努めた。

② 助成金の活用

以下の団体から助成を受けることができ、助成金を活用した事業を実施した。

・首都圏若者サポートネットワーク「第3回若者おうえん基金」

事業名：学生支援ハウスにおける新型コロナウイルス感染症対策の基盤整備

助成額：50万円

・首都圏若者サポートネットワーク「若者おうえん基金・新型コロナ緊急助成2021」

事業名：新型コロナ対策事業

助成額：20万円

・ソフトバンクチャリティスマイル第5回「安心して社会に巣立とう」応援助成

事業名：アフターケアにおける児童養護施設との「共同支援」モデルの構築と実践

助成額：50万円

・毎日新聞東京社会事業団「母の日・父の日募金キャンペーン」

助成額：38万円

③ 行政訪問等

東京都福祉保健局少子社会対策部育成支援課を訪問し、ようこそその活動の意義と公的支援の必要性等について説明した（2021年11月18日）。東京都からは児童相談所の区移管や自立援助補ホームの認可についての見解を聞くことができた。また、面談の際に「児童養護施設退所者等相談支援体制強化のためのICT化推進事業」に関する情報提供を受け、その後、法人として検討を行ったのち申請した。

2021年度12月累計 活動計算書（その他事業がない場合）

特定非営利活動法人 学生支援ハウスようこそ

（単位：円）

科 目	金 額	小計・合計
【A】 経常収益		
1 受取会費		878,000
正会員受取会費	748,000	
賛助会員受取会費	130,000	
2 受取寄附金		3,290,469
受取寄附金	3,290,469	
施設等受入評価益		
3 受取助成金等		1,764,760
受取補助金	1,764,760	
4 事業収益		1,387,000
学生生活支援のためのシェアハウスの開設と運営に関する事業収益	1,387,000	
学生の自立生活に資する調査研究・広報啓発に関する事業収益		
その他目的を達成するために必要な事業収益		
5 その他の収益		146
受取利息	146	
経常収益計		7,320,375
【B】 経常費用		
1 事業費		
(1) 人件費		360,000
給料手当		
役員報酬	360,000	
退職給付費用		
福利厚生費		
(2) その他経費		8,876,124
シェアハウス直接運営費（食材・日用品）	1,096,588	
行事費	173,598	
委託手数料	275,250	
諸謝金	3,849,862	
会議開催費	10,035	
教育・研修費	38,400	
ウイルス感染予防対策費	226,870	
印刷製本費	250	
旅費交通費	669,140	
通信運搬費	171,536	
備品・消耗品費	107,762	
修繕費	338,250	
水道光熱費	638,149	
減価償却費	1,018,863	
ソフト使用料	90,091	
保険料	171,480	
雑費		
事業費計		9,236,124
2 管理費		
(1) 人件費		0
役員報酬		
給料手当		
退職給付費用		
福利厚生費		
(2) その他経費		290,052
委託手数料	50,205	
諸謝金	101,525	
会議開催費	6,780	
印刷製本費	4,992	
旅費交通費	1,946	
通信運搬費	100,137	
備品・消耗品費	1,063	
ソフト使用料	22,470	
租税公課	934	
雑費		
管理費計		290,052
経常費用計		9,526,176
当期経常増減額【A】－【B】・・・①		-2,205,801
【C】 経常外収益		
固定資産売却益		
過年度損益修正益		
経常外収益計		0
【D】 経常外費用		
固定資産売却損		
災害損失		
過年度損益修正損		
経常外費用計		0
当期経常外増減額【C】－【D】・・・②		0
税引前当期正味財産増減額①+②・・・③		-2,205,801
法人税、住民税及び事業税・・・④		
前期繰越正味財産額・・・⑤		23,043,041
次期繰越正味財産額③－④+⑤		20,837,240